

Discover Malaysia Newsletter

2025.07



夏本番を迎え、青空がまぶしい季節になりました。旅行シーズンを前に、「次はどこへ行こう?」と計画を立てている方も多いのではないのでしょうか。今月のニュースレターでは、教育旅行先として注目を集めるマレーシア、6月に大阪で初開催され6万1千人が来場した「マレーシアフェア2025大阪」、そして新たに世界遺産として登録された「FRIM (セランゴール森林公園)」の3大トピックをお届けします。

Topics 01

教育旅行先として注目のマレーシア

"Malaysia as the Ideal Destination for Educational Exploration"

今、学生の教育旅行先としてマレーシアが再び脚光を浴びています。多文化社会ならではの「生きた国際交流」や、都市観光・自然体験・歴史学習など、心に残るアクティビティが揃っている点が大きな魅力です。学校単位の修学旅行に限らず、英語の語学研修、春・夏の研修旅行にも適した渡航先で、近年はインターナショナルスクールや大学の学部留学先としても注目されています。安全性と受け入れ態勢が整い、実践的な学びができるマレーシア。都市と自然、伝統と先進性が調和したユニークな教育環境が広がります。アジアの中でも「リアルな国際体験」ができる、貴重な渡航先のひとつ。だからこそ、今あらためて教育旅行先として選ばれています。



マレーシアが教育旅行で選ばれる理由とは

◆ 多民族・多文化が共生

複数の民族が暮らす多民族国家で、世界の縮図と評される。多様な社会の中では日常生活で自然に異文化交流が可能。

◆ 英語が広く通じる環境

公用語はマレー語(マレーシア語)だが、各民族間のコミュニケーションツールは英語が多用されており、Education First社の調査では、アジア3位の英語能力を誇る。

◆ コストパフォーマンスの良さ

物価は日本の約1/2。学費や滞在費用を抑えられることから手頃な費用で高い満足度を実現。

◆ 多彩な学習素材

熱帯雨林から歴史的建造物、田舎の村の生活を体験する「カンボンステイ」や現地の学校訪問/交流プログラムなど、体験を通じた学びが豊富。

マレーシア政府観光局は、日本旅行株式会社とともに2025年4月～10月にかけて教育旅行プロモーションのジョイントキャンペーンを実施中。未来を担う若い世代に、マレーシアならではの学びと感動を届けていきます。

先日、日本旅行 教育事業部の皆様が大阪万博マレーシア館を訪問され、マレーシア政府の政策や取り組みに触れ、同国での学びの可能性を体感されました。日本の学生がマレーシアで学ぶ機会の広がりにも関心が寄せられています。



写真左: マレーシア館を訪問した日本旅行教育事業部の皆様。
充実した視察に笑顔!

大阪で初開催!マレーシアフェアに 61,000人が来場

"Malaysia Fair 2025 Osaka - A Festival of Culture, Flavor, and Smiles"

6月27日から29日の3日間、ららぽーとEXPOCITYで初開催された「マレーシアフェア2025大阪」には、延べ61,000人が訪れました。会場はマレーシアの文化・グルメ・観光の魅力で大いに賑わいました。



写真左：6万1千人が来場した「マレーシアフェア 2025 大阪」
写真右：マレーシアから来日した民族舞踊団によるパフォーマンス

ステージでは、民族衣装のダンサーたちが舞い、会場全体が異国の雰囲気になりました。物販ブースでは現地の食材や民芸品、キッチンカーではナシレマなどの本場グルメが提供されました。また、マレーグマのキャラクター「ウィラ」と「マンジャ」が子どもたちと触れ合い、笑顔の記念撮影が絶えませんでした。今年で5回目となるマレーシアフェアは、初の大阪開催。「All About Malaysia」をテーマに、来年の「マレーシア観光年2026 (Visit Malaysia 2026)」へ向けた新しいムーブメントを創出しました。



写真左：キャラクター・ウィラ＆マンジャも登場
写真右：物販コーナーも賑わいました

FRIMセランゴール森林公園が マレーシア6番目の世界遺産に登録! FRIM Becomes Malaysia's 6th World Heritage Site

マレーシアのセランゴール州にあるマレーシア森林研究所 (FRIM) の人工熱帯雨林「FRIMセランゴール森林公園」が、第47回ユネスコ世界遺産委員会にて正式にマレーシアの6番目のユネスコ世界遺産として登録されました。



セランゴール州ケボン、クアラランブル北西約16kmの場所

かつて錫鉱山として荒廃していた土地は、1920年代から本格的な再植林により成熟した低地熱帯雨林へと復元され、その先駆的な大規模森林再生と豊かな生物多様性が高く評価されました。人の手による大規模再生事例として世界的に先駆的であり、エコツーリズム拠点として期待されています。



フタバガキの葉が重ならないように避け合い、空に独特の模様を描いています